

普及活動情勢報告（令和5年9月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

パソコンで簿記記帳をしよう・・・大月町パソコン簿記講習会・・・



8月25日、大月町農業構造改善センターでパソコン簿記講習会を開催し、大月町の施設農家2名・新規就農者1名が参加しました。

農業改良普及課は、施設農家に対しては、正しい仕訳記帳の方法、新規就農者には簿記ソフトの設定と仕訳記帳の入力方法を指導しました。新規就農者からは、「パソコン記帳は簡単で助かる」との意見がありました。

今後は、決算に向けて管内農家を対象にパソコン簿記講習会を開催する予定です。

ぶしゅかんの青玉長期貯蔵を目指して！・・・四万十ぶしゅかん生産組合・・・



8月28日、四万十市佐田地区のほ場で、農業技術センターのぶしゅかん貯蔵試験に使用するサンプル採取を行い、農業技術センター6名、振興センター4名、生産者1名が参加しました。

農業改良普及課からは、果実採取時の留意点を説明し、農業技術センターからは、鮮度保持技術や研究成果の報告を行いました。生産者からは、「カミキリムシ対策やかいよう病防除のポイントは」、「青果出荷を今後増やしていきたい」という声がありました。

今後は、貯蔵試験結果の情報提供を行い、青果率向上や栽培技術向上に向けて支援していきます。

前作の振り返りと今作に向けて！・・・キュウリ若手勉強会・・・



8月28日、JA 大方支所の構造改善センターで、キュウリ若手勉強会を開催し、生産者15名、関係機関6名が参加しました。

会では、農業技術センターから、キュウリ栽培試験の結果報告を行い、農業改良普及課から、R4園芸年度の生育調査結果の報告とハウス環境の比較を行い、データから見た管理の違いについて講習を行いました。その後、黒潮町役場と生産者らで、黒潮町の広域Wi-Fi設置についての意見交換が行われました。生産者は、農業技術センターの試験結果やハウス管理について関心を示していました。

農業改良普及課は、今後も勉強会や現地検討会を開催し、引き続きキュウリの栽培管理や黒潮町DX化を支援していきます。

土壌成分を測定してみよう！ ・ ・ ・ R5年度農業基礎講座 ・ ・ ・



8月29日、四万十市立あぐりっこ研修センターにて農業基礎講座実践編を開催し、7名の農業研修生、新規就農者が参加しました。

農業改良普及課が植物の必須元素・施肥等について講義を行った後、現地ほ場では受講生自身が実際に土壌を採取し、pH、ECの測定を体験してもらいました。

受講生からは「土壌診断はJAや振興センターに依頼することが多く、自分で測定することがなかったため勉強になった」との意見がありました。

農業改良普及課は、今後も農業基礎講座を開催し、引き続き受講生の栽培・経営技術の向上を支援していきます。

地域の子ども達に食農教育！ ・ ・ ・ 宿毛4Hクラブ ジャガイモ定植 ・ ・ ・



9月6日、宿毛市二ノ宮で宿毛4Hクラブによる二ノ宮保育園児との共同ジャガイモ定植が実施され、クラブ員9名、園児16名、関係機関8名が参加しました。

当日は、朝からクラブ員がほ場の準備を行い、その後園児達を迎え、一緒になってジャガイモを植えました。園児は「自分が植えたジャガイモをポテトやカレーに入れて食べたい」などと話し、収穫が楽しみな様子でした。

今後は、収穫を11月下旬以降に行うため、その際には二ノ宮保育園児を招待する予定です。農業改良普及課は、引き続き食農教育活動を支援していきます。

露地品目でのSAWACHIの推進！ ・ ・ ・ 西土佐露地米ナス現地検討会 ・ ・ ・



9月8日、四万十市西土佐地区で、JA西土佐支所米ナス部会の露地米ナス現地検討会が開催され、生産者10名が参加し、全員のほ場を巡回しました。

各ほ場では、米ナスの生育状況の確認や病虫害の発生状況を確認し、生産者同士の情報交換が行われました。

農業改良普及課からは、露地品目でのSAWACHIの推進を図る為、タブレット端末を活用してSAWACHIの画面を見せながら説明し、出荷情報提供について参加者全員の同意が得られました。

今後は、施設米ナス生産者に対してもSAWACHIの推進を図っていきます。

広域連携をすすめよう！

・・・集落営農広域連携検討会・・・



9月11日、四万十市役所で集落営農組織広域連携検討会が開催され、中村地区の集落営農組織の役員8名と、関係機関11名が参加しました。

中村地区では集落営農組織の広域連携の検討を進めており、今回は土佐清水市で広域連携に取り組んでいる組織の役員を招き、取り組みを紹介して頂きました。農業改良普及課からは、広域連携に関する協議の場の設置について提案しました。参加者からは「広域連携を進めるためにも協議の場を設置すべき」、という意見があり、広域連携の協議会を立ち上げることが決まりました。

農業改良普及課は、引き続き関係者と協議を行い、四万十市で広域連携の実現に向けて支援していきます。

次作のにら栽培に向けて！

・・・R5園芸年度にら部会定例総会・・・



9月12日、JA佐賀支所にて令和5園芸年度のにら部会定例総会が開催され、生産者18名、関係機関13名が参加しました。

JAからは、令和5園芸年度の販売実績や今年8月から稼働した四万十野菜集出荷場に関する出荷体制などの説明がありました。農業改良普及課からは、園芸用ハウス等リノベーション事業、親元就農の支援制度、農業版BCP等に関する情報提供を行いました。

生産者からは、部会の賦課金や昨年度の販売単価、補助事業に関する質問がありました。

農業改良普及課は、引き続きにら部会への情報提供および栽培・経営技術の支援を行っていきます。